

ひなたぼっこ新聞

2013.5.10
第12号

《たびだちの会》



三月九日に「たびだちの会」が行われました。

十一組のたびだちの親子とボランティアさんを含めて、総勢六十七名のにぎやかな会になりました。

最初はセレモニークラ。さすが3歳のお友だち、どの子も立派にいのちの応援舎の山本事務長から、卒業証書と



最後は、たびだちの親子による「はらぺこあおむし」の劇でした。みんな蝶々の羽をつけてもらっ



た。
二番手の「チームドット」の出し物は、「パチパチパレードっ！」と

「ワンワンパラダイス」。みんな大好きなダンスだったので、一緒に楽しく踊りました。



記念品を受け取りました。

お楽しみ会では、今年もボランティアさんが大活躍！

トップバッターは、「白雪姫と5人の小人」による歌、手遊び、楽器の演奏でし



最後に、記念樹の「ミモザ」を植樹しました。
「ミモザ」の花ことばは、「豊かな感受性」。

ミモザのように、お友だちやお家の人など、周りの人に対して、優しい人になって下さいね。
また、八月には「同窓会」を予定しています。是非、成長した元気な姿を見せて下さいね。
楽しみにしています。



て、とても可愛かったですよ。

3チームとも打ち合わせ、練習、本番と、とても頑張ってくれたので、より素敵な「たびだちの会」になりました。

スタッフ一同とても感謝しています。ありがとうございました。

《おとうさんデー》

ひろばでは、月1回のいずれかの土曜日に「おとうさんデー」を開催しています。



一月は「お餅つきと、お雑煮の会」でした。

五十四名（うちお父さん六名）の参加でとてもにぎやかに行われました。つきたてのお餅はとっても美味しく、讃岐名物あんもち雑煮も好評でした。



二月は、「木のおもちゃで遊ぼう」で、満濃町の西部林業協同組合さんから、たくさんのお素敵なおもちやお借りして、終日「ひろば」で木との触れ合いを楽しみました。

三月は、たびだちの会が「お父さんデー」になりました。

五月は、NPOいのちの応援舎理事長の山本助産



師のお話の予定です。

六月は、「ひなたぼっこ」の運動会をします。昨年150名を超える親子の参加があり、お父さんの参加も30名以上でした。「お父さん！ふるってご参加！お待ちしております」

お母さんの声

「口々、成長中！」

川端 憂紀



私が初めて「ひなたぼっこ」に来たのは、息子が一歳五カ月の時でした。

一歳に入って少しずつ出来る



事も増えて来た頃：毎日マンツーマンでイライラする事も。

でも、ひろばに来て他のお母さん達や、先生と話していると、「よし！また帰って頑張る！」と思えます。

今では、わんぱく真っ盛りの二歳児：さらにイライラする事もある反面、私も息子も周りから色々吸収しながら、少しずつ成長中です。



「友達作り」

藤野 愛

もうすぐ三歳になる息子と二年前から、ひなたぼっこに通っています。

「友だち作りができた」と体験に行ったのが最初です。偶然にもその日に会った方と、子育ての話で盛り上がり、すぐに友達になりました。今では親子共々たくさんのお友だちができて、楽しく子育てをしています。

息子は、いつもみんなで食べる「お弁当の時間」を一番楽しみにしています。(笑)

